

# 京都創生

KYOTO SOUSEI

第17号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

## 文化庁が京都へ全面的に移転！

～遅くとも2021年度中に移転～

### 先行移転について

平成29年4月、京都に「文化庁地域文化創生本部」が設置されました。

本格移転の準備とともに、新たな政策ニーズに対応した事務・事業を、地元の知見・ノウハウ等を生かしながら先行的に実施しています。

### 本格移転について

平成29年7月、「文化庁移転協議会」において、文化庁の本格移転の際の移転場所、規模等を定めた「新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて」が取りまとめられました。

- ・移転先は、京都府警察本部本館に決定

遅くとも2021年度中の本格移転を目指します。

- ・移転規模は、職員数の7割（250人程度以上）を前提

文化庁の本庁を京都に置き、本庁に文化庁長官及び次長を置きます。

本庁では、東京で行うことが必要な国会対応、外交関係等以外のすべての業務を行います。



文化庁地域文化創生本部



本格移転先 現京都府警察本部本館

## 文化芸術基本法が施行されました

文化芸術に関する施策の一層の推進を図る観点から、文化芸術振興基本法が改正され、文化芸術基本法として平成29年6月23日に公布・施行されました。

### 文化芸術立国を目指し、機能強化される「新・文化庁」

#### ①文化政策の対象拡大

食文化をはじめとする生活文化など複合領域の文化芸術振興 など

#### ②文化芸術活動の基盤充実

文化芸術教育・体験の充実を通じた世界トップレベルからボランティアまで多様な文化芸術人材の育成 など

#### ③文化政策形成機能の強化

様々な関連分野と有機的に連携した文化政策の総合的な推進 など



「縦割り」を超えた、開放的かつ機動的な文化政策集団への発展を目指し、抜本的な組織改革が行われます。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

# シンポジウム「文化による地方創生—関西からの展望」 ～文化庁の関西・京都への全面的な移転を見据えて～

**日時** 平成29年11月2日(木) 13:45～16:15

**会場** 大阪市中央公会堂

京都市、京都府、京都商工会議所の共同で、関西全体での文化庁移転の機運醸成を図ることを目的として、シンポジウムを開催しました。

開催に当たり、オープニングで笑福亭鶴笑さんによる落語『立体西遊記』を披露いただいた後、門川大作市長からのビデオメッセージに続き、「文化庁の京都移転と地域文化創生本部の活動」をテーマに、松坂浩史氏（文化庁地域文化創生本部事務局長）に講演いただきました。また、奥野卓司氏（関西学院大学教授、山階鳥類研究所所長）、杉本節子氏（奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家）、角和夫氏（関西経済連合会副会長、関西観光本部副理事長、阪急阪神ホールディングス代表取締役会長グループCEO）、高島幸次氏（大阪大学招聘教授、大阪天満宮文化研究所研究員）をパネリストにお迎えし、佐々木洋三氏（関西・大阪21世紀協会専務理事）のコーディネートによりパネルディスカッションを行いました。

文化庁の移転の意義や効果、文化資源を活かした地方創生、文化と観光や産業との連携による経済の活性化等に対して関西が果たすべき役割や今後の取組の方向性等について議論し、文化による地方創生を関西から展望する機会となりました。

当日の様子は、下記ホームページからご視聴いただけます。

(アドレス <https://youtu.be/ks00922ZmO0>)



講演の様子



落語の様子



パネルディスカッションの様子



## 京都創生PRポスター「日本に、京都があつてよかった。」第29弾が登場！

当フォーラムと京都市では、京都創生PRポスター「日本に、京都があつてよかった。」を発行しており、第29弾のテーマは「夜の京都の光と影が織りなす佇まい」です。

国内外からの参拝者で賑わう伏見稲荷大社の朱の鳥居。暗闇と共に訪れる静寂の中、幾重にも連なる鳥居に差し込む光が不思議な幾何学模様を写しだす。時代を経ても変わらない夜の京都の佇まいがここにあります。

このポスターを多くの方にご覧いただき、改めて京都が持つ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えています。

※本ポスターと同デザインの「京都市営地下鉄1dayフリーチケット」も発売予定です！





# シンポジウム 京都創生推進フォーラム

当フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆さんによる自主的な活動を推進するために、シンポジウムを開催しています。

今年は、オープニングで、茂山宗彦氏、茂山童司氏による狂言「いなばどう因幡堂」を披露いただいた後、「京都から考える日本文化の多様性と地方創生」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

**日時** 平成29年7月27日(木) 13:30～16:00

**会場** ロームシアター京都「サウスホール」



狂言「因幡堂」の様子

## パネルディスカッション

### 「京都から考える日本文化の多様性と地方創生」

パネルディスカッションでは、文化庁の京都移転が本格的に決まり、4月から地方文化創生本部が活動を開始している中で、日本文化の多様性と地方創生について、私たちができることを考えました。

#### ◎パネリスト

■小松 和彦 氏（国際日本文化研究センター所長）

京都は、他の地域からやってきたものを貪欲に取り込みながら、新しいものをつくり出してきています。京都人がどのように自分たちの文化が外から眺められているのか気づくことは、次の京都を考えていく手がかりになるのではないのでしょうか。それは、同時に日本を眺めることでもあります。

花街の文化が京都をつなぐ無形文化遺産に選定されましたが、大衆文化の研究こそが、未来の日本文化をつくる手がかりだと思っています。



■佐伯 順子 氏（同志社大学大学院社会学研究科教授）

敵対していた長州と会津が京都で手を結び、モダンな英学校を作り、京都の近代化に貢献したというのは、京都ならではの地方の人々との関わりと言えらと思います。

以前は男のものだった茶の湯を、女性のたしなみとして新島八重が女子教育に取り入れました。その八重が同志社にゆかりの人物ということもあり、「京都と茶文化研究センター」を創設し、伝統文化の集積地としての京都で、茶を通して文化的に何ができるのか研究しています。



■佐藤 洋一郎 氏（人間文化研究機構理事）

「森」という観点から日本の文化を見ると、北の落葉樹、南の照葉樹に分けられるように、食文化でも東西のネギや南北の出汁で分かれます。京都は合わせ出汁を作ったように、他所からものを集めてきて、一つのものにするということに長けています。

また、東西、南北の堺界にある京都には、昔から雅な方々がいらっしゃったため、いろいろな人がいろいろな所から集まってきたこともあり、京都は非常にハイブリットな文化になったと言えます。



■森 正美 氏（京都文教大学総合社会学部教授）

地蔵盆などの地域文化の調査や活動を通じて、若い学生が京都で出会ったものを地方で新たな文化として育てていってほしいと思い、活動しています。

地域の行事、参加の仕組み、何よりもそういった体験を若い人たちが取り戻す。そのことによって、「常若」という、行事や信仰やコミュニティが再生産されていく。そういう記憶装置としての文化の力を改めて見直しつつ、地域外の人たちとの付き合い方も考えていきたいと思っています。



◎コーディネーター

■宗田 好史 氏（京都府立大学副学長）

来年明治維新150年を迎える今、文化庁の全面的な移転を直前に控え、私たちは、日本の文化、あるいは日本の歴史がどう変わるかというような重要な節目に立っています。

「これが日本だ」、「これが京都だ」と決めつけた文化にこだわることなく、より自由に新しい発想を、日本の文化の創造のために広げていくことによって、国の形、特に東京と地方の関係が変わってきます。十数年取り組んできた京都創生が文化庁移転と日本の創生につながる大きな流れになっていきます。



## イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。

（アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>）

| 事業名              | 概要                                      | 開催期間                                                     | 会場（住所）                           | 料金                                 | 申込 | 主催者等                               |
|------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|----|------------------------------------|
| 西陣くらしの美術館        | 11月お火炊き、12月だ<br>いこ炊き、1月町家のお<br>正月と歳徳神   | 11/1(水)～<br>平成30年2/3(土)<br>11:00～13:00                   | 西陣くらしの美術館<br>(京都市上京区大宮通一<br>条上ル) | お話と見学<br>2,160円<br>お食事付き<br>8,640円 | 要  | 西陣くらしの美術館<br>(075-432-6701:<br>駒井) |
| 伏見稲荷大社           | 和銅4年2月初午の日に<br>稲荷大神が稲荷山にご鎮<br>座したゆかりの日  | 平成30年2/7(水)<br>8:00～                                     | 伏見稲荷大社<br>(京都市伏見区深草藪ノ<br>内町68)   | 無料                                 | 不要 | 伏見稲荷大社<br>(075-641-7331:<br>宣揚部)   |
| 水明書道会<br>第12回墨聚展 | 水明書道会の選抜書展。<br>漢字・かな・てん刻・調<br>和体の約200点。 | 平成30年2/22(木)<br>～2/25(日)<br>10:00～18:00<br>(最終日は17:00まで) | 京都文化博物館<br>(京都市中京区三条高倉)          | 無料                                 | 不要 | 一般社団法人<br>水明書道会<br>(075-533-3453)  |

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。

○内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。



京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」 第17号

発行日 平成29年12月15日

発行 京都創生推進フォーラム

（事務局：（公財）京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121）

